

一般質問通告書 12月議会

平成28年12月6日～14日

番号	件名	氏名
1	災害対策について	清水 敏保
2	上関町特産物センターの運営について	嶋尾 忠宏
3	農業振興について	山戸 貞夫
4	山口県議会の原発推進を求めた意見書について	山戸 貞夫
5	風力発電事業について	海下 竜一郎
6	ふるさと納税の取り組みについて	海下 竜一郎
7		
8		
9		
10		

6件 4人

定例会一般質問通告書

平成28年第4回上関町議会定例会（12月）

◆質問者1 清水議員	
質問事項	質問要旨
1. 災害対策について	<p>町は、今後予想されている南海トラフ地震などの多様な危機災害に備え、避難所や備蓄品の整備、災害対策本部や災害情報伝達機能など全町的な危機管理体制の構築に取り組むとある。</p> <p>祝島では、祝島地区館、祝島小中学校グラウンドおよび体育館が避難場所として指定されている。しかし、祝島地区館は、天井や窓周りから雨漏りがひどく、壁にはひび割れが何箇所もあり耐震性に欠け、避難場所として大丈夫かと不安を感じる。</p> <p>現在指定されている本町の避難場所等についてどのような評価をしているのか尋ねる。</p>

◆質問者2 嶋尾議員	
質問事項	質問要旨
1. 上関町特産物センターの運営について	<p>上関町特産物センターの運営については、現在、実行委員会が観光協会とともに執行を決定するとされ、運営を行っている。</p> <p>運営状況については、10%の手数料で維持管理をするには厳しい状況であり、さらに人口の減少や道の駅上関海峡との運営内容の類似、出荷者の重複、生産が出荷に追いつかない品薄の状況などの諸問題も発生している。</p> <p>今後、運営にあたっては、ますます厳しい状況が続くことが予測され、町の負担増につながると考える。</p> <p>現状維持では厳しく、改善を求める必要があると考えるが、町長の所見を伺う。</p>

◆質問者3 山戸議員	
質問事項	質問要旨
1. 農業振興について	<p>(1) 祝島の東側の農道は農業用小型車両での通行を想定した基準となっている。軽自動車での移動が増えるなか、現在の道の幅では人命に関わる大事故の恐れもある。西側の農道を含め大雨の時などには落石などによって通行止めや通行が制限されることも多い。地元農家は改良改善を強く望んでいる。</p> <p>(2) イノシシの被害により耕作を断念せざるを得ない状況が危惧される。また、島特有の段々畑の石垣が崩されることも多く、現状のままでは農地も農道も荒れてしまう。農地の維持と農道の管理・改善について町長の考えを問う。</p> <p>(3) 祝島の特産である「びわ」や「柑橘類」の木、さつま芋畑などのオーナー制度の導入で農業振興を図ってみてはどうか。また、ふるさと納税の返礼品としてこの制度を導入することで都市部住民の来町につながるのではないか。</p>
2. 山口県議会の原発推進を求めた意見書について	<p>山口県の9月定例議会では、自民党・公明党などの会派によって原発推進を求める意見書が、全会一致ではなく多数決によって可決された。</p> <p>このたびの山口県議会の意見書については、事前に国や県からの働きかけはあったのか。また、今回の決議をどう見ているのか尋ねる。</p>

◆質問者4 海下議員	
質問事項	質問要旨
1. 風力発電事業について	<p>風力発電事業については、平成27年12月に事前調査、平成27年12月及び平成28年1月に各調査業務委託受注、平成28年7月に風車等建設事業者決定となっており、これまで順調に進められている。</p> <p>今現在の風力発電事業の進捗状況と今後の見通しを伺う。</p>
2. ふるさと納税の取組みについて	<p>本町では平成26年度より返礼品を始めたことにより件数・寄付額が大きく増え、平成27年度にはさらに品数を増やすなど、創意工夫をし、前年度を上回る数字となっている。</p> <p>平成28年11月11日現在で、233件、約870万円と聞いているが、本町の現在の寄付金の実績と、今後の展望を伺う。</p>